

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 安田不動産株式会社（証券コード：-）

### 【据置】

長期発行体格付	A -
格付の見通し	ポジティブ
国内C P 格付	J - 1

### 格付事由

- (1) ビル賃貸事業を主力とする不動産会社。株主構成、役員構成、金融取引などにおいて、みずほグループや、旧安田グループ企業との結びつきが強い。ビル賃貸事業のほか、貸地事業、マンションを主体とした分譲事業、不動産流動化事業、仲介・コンサルティング事業なども手がけている。所有物件はオフィスビルが中心であり、神田錦町、神田淡路町、日本橋浜町、神戸市三宮といったエリアに多くの物件を有する。
- (2) オフィスビルや貸地などからの賃貸関連の収益のウエートが高く、収益基盤は安定している。また、業績は堅調に推移している。今後も新規開発物件の収益貢献などにより、収益・キャッシュフローは向上することが見込まれる。一方、投資の増加などにより財務改善のスピードは鈍化している。プロジェクトの資金回収が進むことで、中期的には財務構成は改善に向かうとみているが、その進捗を確認する必要がある。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しはポジティブを継続した。
- (3) 17/3 期営業利益は 85 億円（前期比 10% 増）と 3 期連続の増益となる見通し。既存物件の賃料引き上げが進んでいることに加え、マークライト虎ノ門などの新規物件も収益拡大に寄与する見込み。18/3 期以降も賃貸関連が収益拡大をけん引するとみられる。オフィスビルに加え、ホテルや商業施設の開発にも取り組んでおり、物件ポートフォリオが多様化しつつある。旗艦ビルであるワテラスの開発で培われたエリアマネジメント力を生かし、日本橋浜町の街づくりも進めている。こうした取り組みにより、安定収益の厚みが増すものとみている。
- (4) 11/3 期以降の財務構成は一貫して改善してきたが、16/3 期末は有利子負債の増加などで自己資本比率は 34.7%（15/3 期末 37.3%）、D/E レシオは 1.4 倍（同 1.2 倍）となっている。足元も将来の事業基盤強化に向けた投資が続いており、17/3 期も有利子負債は漸増する見込み。ただ、18/3 期以降の投資はキャッシュフロー範囲内に収まるとみられ、財務構成は改善に向かうと見通しである。その動向に注目していく。

（担当）里川 武・坂井 英和

### 格付対象

発行体：安田不動産株式会社

### 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	ポジティブ

  

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	50 億円	J-1

## 格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2016年12月26日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：島田 卓郎  
主任格付アナリスト：里川 武
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「不動産」（2011年7月13日）として掲載している。
5. 格付関係者：  
（発行体・債務者等） 安田不動産株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## 留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であることを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

## NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル